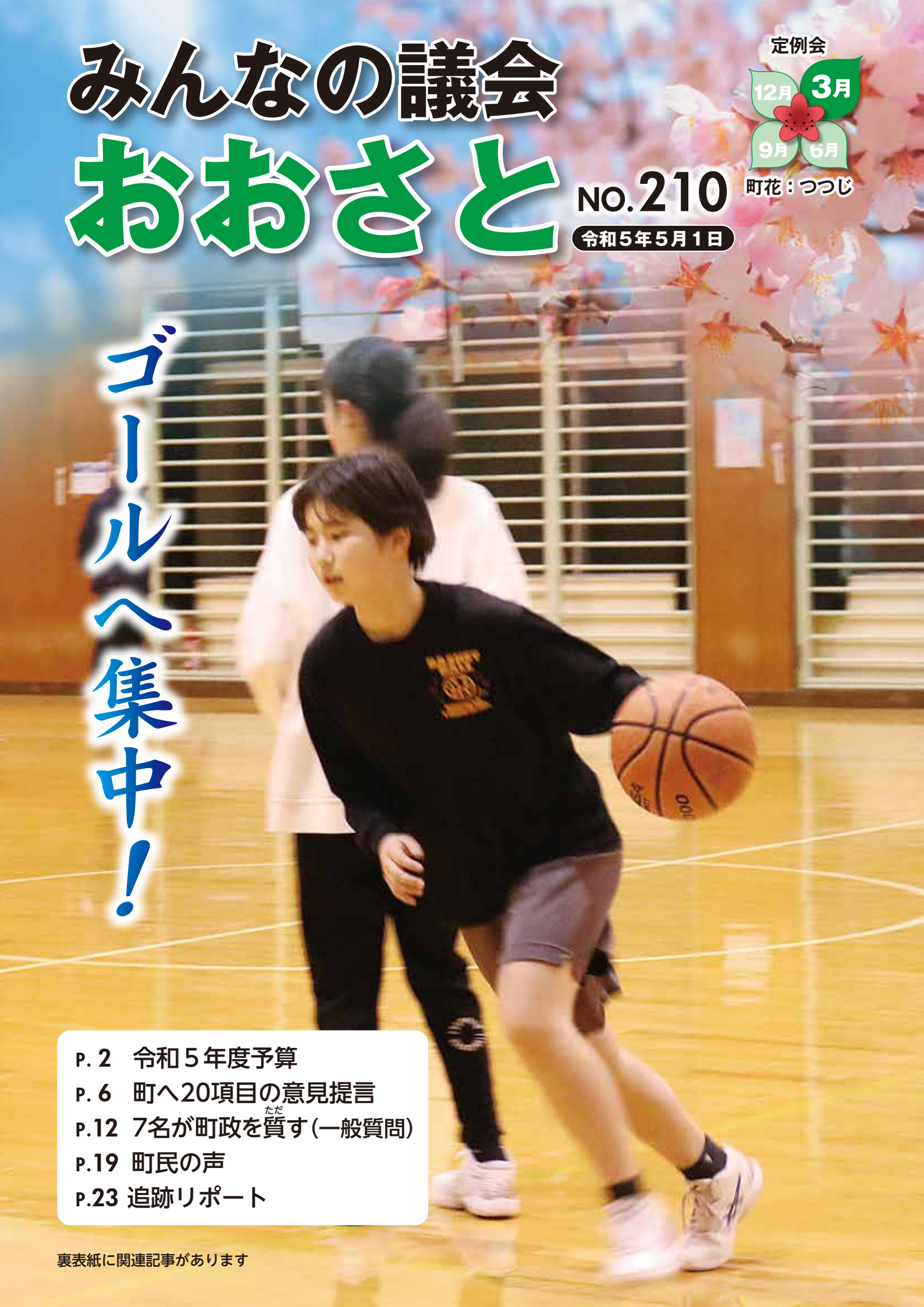
みんなの議会 おおさと

NO.210
令和５年５月１日

定例会
12月 3月 9月 6月

町花：つつじ



ゴールへ集中！

P. 2　令和５年度予算
P. 6　町へ20項目の意見提言
P.12　7名が町政を質す（一般質問）
P.19　町民の声
P.23　追跡リポート

裏表紙に関連記事があります

復興の加速、過疎脱却へ

令和５年度　一般会計予算

55億7000万円

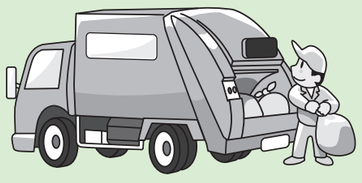
▲防災コミュニティセンターイメージ図

災害復興関連事業

- 防災コミュニティセンター等事業費　3億5765万円
- かわまちづくり事業　1165万円
- 防災住環境整備支援事業補助　550万円
- 被災住宅再建支援金　1000万円
- 町管理河川（滑川）緊急浚渫事業　6226万円
- 避難道路整備関連　1億8950万円

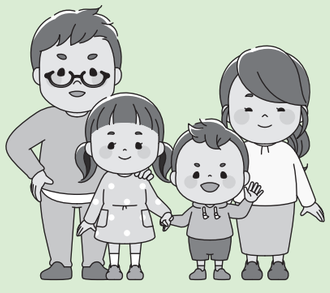
子育て応援・教育関連

- ＩＣＴ支援業務　402万円
- 保育事業負担金　1億8302万円
- 小・中学校給食費・こども園主食費等無償化　3841万円
- 通園バス運行補助金（認定こども園）　1531万円
- 小・中学校スクールバス運行業務　4226万円
- 子育て医療費助成（0～18歳まで）　2751万円



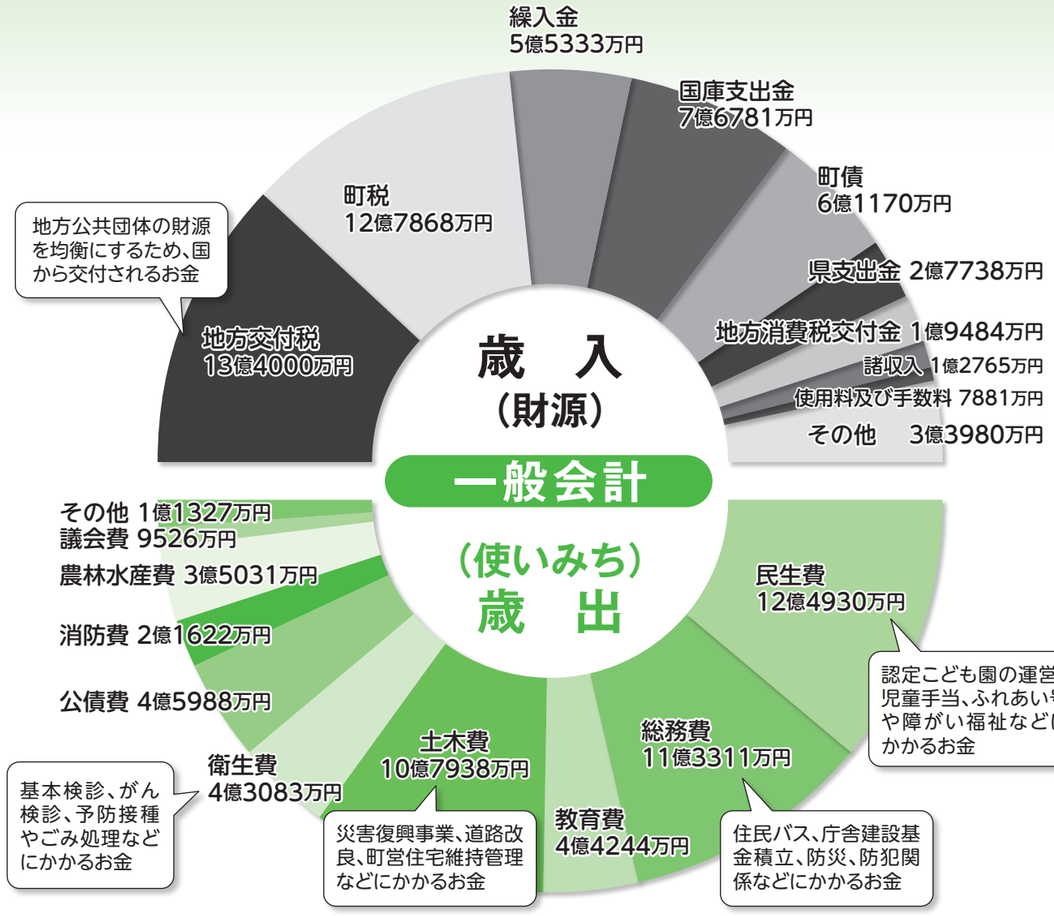
生活環境支援関連

- 高齢者の外出支援事業「ふれあい号」　647万円
- 住民バス指定管理料・公金徴収業務　3174万円
- ごみ収集・焼却処理　1億4048万円
- 町道維持・新設改良費・橋梁修繕費　1億6950万円
- 生活応援商品券（１人5000円）　3975万円

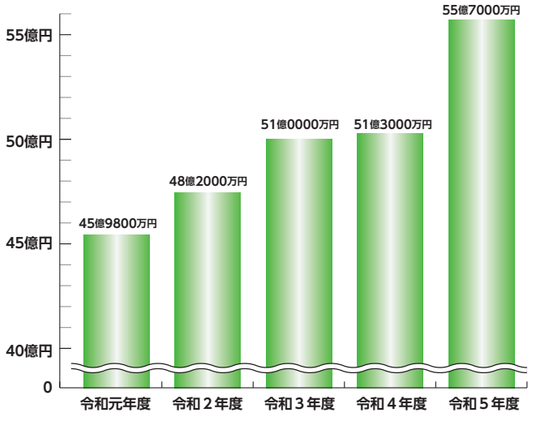


移住定住促進事業

- 地域おこし協力隊関連費用　1780万円
- 若者・子育て世帯定住促進奨励金（固定資産税相当額助成）　868万円
- 定住促進事業補助　330万円
- 起業者等支援補助　850万円
- 縁の郷テレワーク整備・改修など　1億14万円



一般会計予算（当初）の推移



特別会計・事業会計予算（対前年比）

国民健康保険 9億3758万円 （2859万円増）	下水道事業 2億2812万円 （446万円増）	宅地分譲事業 725万円 （1億2122万円減）
介護保険 11億3205万円 （2921万円増）	農業集落排水事業 7533万円 （1924万円増）	水道事業会計 収益的支出 2億4441万円 （1536万円増） 資本的支出 1億4064万円 （271万円増）
後期高齢者医療 9812万円 （548万円増）	戸別合併処理浄化槽 7176万円 （205万円増）	

水道事業会計予算を検証

令和５年度の予算を審査するため、特別委員会を設置し、６日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。
本会議では委員会審査報告の後、採択し、一般会計および各種会計を可決しました。

交通安全の整備

問 危険箇所を把握した上で安全管理が必要では。

答 ＰＴＡの協力によるデータを元に、教育委員会、総務課、地域整備課、大和署、土木事務所（県道）が調査し、連携して改善を進めている。

消防団員確保

問 機能別団員などで残ってもらえるよう指導してほしいが。

答 機能別団員への移行について各部長に伝えている。令和４年度退職者16名のうち2名移行した。

▲消防団は地域の宝

議員報酬

問 議員定数が14名から12名に減る。報酬増の考えは。

答 今の段階では考えていない。

敬老会

問 今年は開催予定か。

答 ３年間中止だったが今年はできる限り開催したい。

▲いつまでも元気に長生きを

ドローンによる農薬散布実施支援補助

問 年何回くらい実施する計画なのか。

答 町内の農業者や法人などがドローンで農薬散布した場合に３分の１程度、10アール当たり５００円、年間上限50万円程度で補助金を交付するもの。

空き家バンク

問 町の方から出向いて情報収集する考えは。

答 出向くとかなりマンパワーが必要。別のやり方での解決法を探っていければと思う。

橋梁修繕工事

問 成田橋、小屋館橋、宮下橋の状況は。

答 5年以内に補修する。成田橋は床板の上にひび割れなどがあり、架け替えか注入補習か検討中。ほかの２橋は、ガードレール部分が腐食している状況。

土砂採取への指導

問 町が開発業者に指導した裏付けとしての文書はあるのか。

答 改善命令みたいなものは文書で出していると思うし、回答もあると思う。県の積極的な立ち入り調査なども求めていきたい。

危険ブロック塀除去

問 通学路の近くは早急に撤去すべきでは。

答 自己負担が発生するものなので強くは言えず、お願いはしているが進まない状況。

石綿セメント管更新

問 どのくらい残っていて、いつ更新完了するのか。

答 約８キロメートルあり、毎年１キロメートルほど修繕しているので、約８年で更新完了予定。

水道ビジョン策定

問 どういう内容か。

答 水道施設や水道管などの老朽化や更新について全部策定していき、10年単位での水道料金検討も含まれている。

認知症予防

問 予防・早期発見のための機関を設けては。

答 初期状況を把握するにはいろいろな検査などがあるので、活用しながらやっていきたい。

被災住宅再建支援

問 支援内容は。

答 新築が４件、補修10件。場所は中粕川地区や被災したところが対象。

一般会計・特別会計・徹底

吉田　耕大 副委員長

和賀　直義 委員長

庁舎建設基金

問 どこまで基金積立を考えているのか。

答 10億から20億円程度。今後どこにどのような建物を建てるのかを検討していかなければならない。

秋まつり

問 マラソン大会はしないのか。

答 スポーツフェスティバルとして親子で体験できるような形のスポーツ体験を計画している。

▲町内外から多くの親子が参加

無形文化財保護

問 総合学習での予定は。

答 羽生田植踊保存会の指導を受け小学３年生を対象に年間10時間くらい総合学習の中で６月からスタートしたい。

▲町ぐるみの保存・継承を

地場農産物の利用

問 給食でどれくらい使われているか。

答 12品目、町内３団体および個人９人から供給。生産者を取材して給食時に上映し、思いを子どもたちに伝える取り組みも行っている。

外国語指導助手

問 小学校での外国語指導助手の時間を増やしては。

答 中学校が週４日、小学校が毎週火曜日の予定。小学校から要望あれば臨機応変な対応は可能。

大郷産牛

問 多くの町民からいつでも郷産牛が購入できるようにしてほしいとの声がある。

答 夏祭りなどのイベントを通して宣伝している。道の駅での販売も考えたが、生ものなので仕入れと販売量の管理が難しい。

粗大ごみ

問 集積所に冷蔵庫が放置されていた例もあるが、防犯カメラ設置の補助は。

答 １基につき上限３万円で２分の１補助するものがある。

通園バス

問 空席が多いと感じるが、小型にするなど検討すべき時期では。

答 園との協定が期間満了するまでに、運行形態など利用しやすく協議する。

起業者等支援

問 どういう内容か。

答 補助対象経費の２分の１の補助。空き店舗再生支援は、町内に新規出店する個人事業者または中小企業者を対象。既存店舗改修支援は、町内事業者を対象。

上限額		
空き店舗再生支援	購入	100万円
	改修	50万円
既存店舗改修支援		50万円

町当局へ20項目の意見を提言

生活環境の利便性向上を

改善 住民バス・ふれあい号

住民バス・ふれあい号のさらなる利便性向上に努められたい。

問　ふれあい号運行について、改善されたい。
答　利用者の利便に寄与できるか、検討していきたい。

推進 受診率向上

各種検診の受診率向上に努められたい。

改善 大和・松島線等整備

大和・松島線等県道の整備を強く要望されたい。

強化 消防団員確保

消防団員の確保に努められたい。

推進 学力向上

※ICTを活用し、学力向上に努められたい。

※通信技術を活用したコミュニケーション

改善 えにしのさと線

町道えにしのさと線の整備を図られたい。

問　交流人口を図るために、縁の郷入口の道路の整備の考えは。
答　進入路も今の進入路を整備するよりも、ガーデン計画した道路を広くしたほうが底地整地にお金がかからないので、今の道路を２メートルぐらい広げれば、十分観光バスでも入れるようになる。

強化 防犯カメラ

ごみ集積所に防犯カメラを設置されたい。

町境付近の県道に防犯カメラを設置されたい。

改善 ふるさと納税

ふるさと納税の目玉となる返礼品の開発とサイトの活用を図られたい。

問　新たな商品開発やさらなるサイト活用、自動販売機でのふるさと納税などを検討されたい。
答　町の特産品を見つけていきたい。自動販売機でのふるさと納税も前向きに検討する。

推進 地域おこし協力隊

活性化事業に沿って地域おこし協力隊の募集に努められたい。

問　人口減少対策などいろんな分野の人を募集したほうがいいのでは。
答　そういった地域おこし協力隊を募集している。

推進 わな免許取得

わな免許取得の周知徹底、取得者の増を図られたい。

問　年々イノシシが増えてきているので、農業法人などにできるだけ免許取得してもらうようお願いしては。
答　補助事業を活用し、広く町民や農業法人に周知し、協力をお願いしていきたい。

改善 税収入

税の収入率向上に努められたい。

見直し 夏まつり再考

夏まつり開催を再考されたい。

問　今年度予算にはないが、ぜひ開催してほしい。
答　実施してほしいというのであれば、やる方向で考える。

▲夏まつり開催を

推進 かわまちづくり事業

かわまちづくり事業は広く町民から意見を求め、計画されたい。

問　広く町民からの意見を反映してほしい。
答　多くの若い方々の意見を聞き進めていきたい。

▲町民の意見を大切に

推進 無形文化財の継承

無形文化財の継承を町全体で進められたい。

推進 下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進に努められたい。

推進 介護保険特別会計

認知症の理解促進、早期発見、相談体制の整備に努められたい。

見直し 水道事業会計

基本料金の軽減を検討されたい。

議員発議の修正案を否決

第1回定例会、令和5年度一般会計予算の審議において修正案の緊急動議が提案され、賛成少数により否決した。

発議者　熱海　文義議員

一般会計当初予算より、縁の郷テレワーク整備事業費9000万円を減額する修正案を提出。

〈提案理由〉

「縁の郷」に9000万円かけても交流人口が増えるか不安である。それより今、町に定住したくても土地がない状況なので、定住につなげる方策として旧東沢町営住宅の地盤の修正、改修をすべきと考える。縁の郷テレワーク施設にお金をかけても町の税収は1円も入らない。

▲宿泊棟の7室がテレワークに

修正案賛成　石川　壽和　議員

いまだに実績が見えない

多少宿泊客の報告などを受けているが、いまだに㈱ラトリエの実績が見えない。テレワーク施設整備費用の半分の4000万円は国から補助があるが、町からお金や力を貸すことが多く、そこまで面倒を見なければならないのか。修正案に賛成する。

原案賛成　佐藤　牧　議員

新しい取り組みを評価

新年度予算において子育て支援等の定住促進施策の継続、物価高騰対策の生活応援商品券発行、空き店舗等を活用する起業者への支援など、新しい取り組みもあり評価する。町民の意見をさらに反映させることを期待し賛成する。

原案および修正案反対　千葉　勇治　議員

計画倒れが予想される

㈱ラトリエが管理する「縁の郷」の高付加価値化事業計画の信頼性を裏付けるものが定かでなく、計画倒れが予想される。あまりにも無責任なトップダウン方式の事業計画であり、行政信条の「夢新（むしん）」ではない、心のない思いつきの「無心（むしん）」によって町民にツケが回らないように願い反対する。

原案賛成　高橋　重信　議員

「縁の郷」は観光資源

「縁の郷」で町が貸している不動産に関しては町で対応してすぐに直さなければならない。「縁の郷」は観光資源としてすばらしいので、町外、県外からも来ていただくべきと考え原案に賛成する。

一般議案 歯科診療所貸し付け延長

▶歯は大事です

【議案第42号】財産貸付

1 貸し付ける財産
名称　旧大郷町立歯科診療所

2 貸し付けの相手方
仙台市宮城野区新田一丁目19番54号
医療法人社団　青葉会

3 貸付金額
年額62万5200円

4 貸付期間
令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

議案第３号　**個人情報保護審議会条例の制定**
個人情報保護は廃止し、新たに個人情報保護審議会条例を制定するもの。

議案第４号　**個人情報保護法施行条例の制定**
個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、新たな個人情報保護法施行条例を制定するもの。

法改正等にともない条文・条項を改正するもの	議案	
	第５号	債権管理条例の一部改正
	第６号	職員の定年等に関する条例の一部改正
	第７号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
	第８号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正
	第９号	職員の懲戒の手続、効果等に関する条例の一部改正
	第10号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
	第11号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正
	第12号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
	第13号	特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
	第14号	職員の給与に関する条例の一部改正
	第15号	職員等の旅費に関する条例の一部改正
	第16号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
	第17号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	第18号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	第19号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	第20号	子ども・子育て会議条例の一部改正

町職員の定年年齢引き上げ

議案第６号　職員の定年年齢を２年ごとに１歳ずつ段階的に引き上げ、65歳とする。

年度	令和5～6年度	令和7～8年度	令和9～10年度	令和11～12年度	令和13年度
定年年齢	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳

白石市外二町組合（白石市、蔵王町、七ヶ宿町）が解散し、白石市外二町組合を条文から削る	議　案	
	第22号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更
	第23号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更
	第43号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更

議案採決結果一覧表

	議案名（略称）			採決結果	吉田 耕大	佐藤 牧	赤間 茂幸	大友 三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海 文義	石川 壽和	和賀 直義	高橋 重信	石垣 正博	千葉 勇治	若生 寛	石川 良彦
第1回定例会	議案第3～23・42～43号			可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議発第1号	大郷町議会の個人情報の保護に関する条例の制定 P19		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
	請願第1号	「消費税インボイス制度実施延期を求める意見書」提出についての請願 P19		可	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
	委発第1号	消費税インボイス制度実施延期を求める意見書（案） P19		可	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
	議案第24号	補正予算 P10	一般会計（第11号） 66億2925万円（10億6945万円↓）	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
	議案第25号		特別会計 国民健康保険（第4号） 9億3513万円（1489万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第26号		特別会計 介護保険（第3号） 11億1986万円（1300万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第27号		特別会計 後期高齢者医療（第2号） 9362万円（4万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第28号		特別会計 下水道事業（第3号） 2億1977万円（661万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第29号		特別会計 農業集落排水事業（第2号） 5737万円（8万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第30号		特別会計 戸別合併処理浄化槽（第3号） 1億873万円（401万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第31号		特別会計 宅地分譲事業（第2号） 1億2819万円（397万円↓）	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第32号		水道事業会計（第3号） ①収益的支出：2億4552万円（167万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第33号	令和5年度当初予算 P2～8	一般会計 55億7000万円	可	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	●	●	—
	修正動議		一般会計（修正案） P8 54億8000万円（9000万円↓）	否	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	—
	議案第34号		特別会計 国民健康保険 9億3758万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
	議案第35号		特別会計 介護保険 11億3205万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第36号		特別会計 後期高齢者医療 9812万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
	議案第37号		特別会計 下水道事業 2億2812万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第38号		特別会計 農業集落排水事業 7533万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第39号		特別会計 戸別合併処理浄化槽 7176万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第40号		特別会計 宅地分譲事業 725万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第41号		水道事業会計 ①収益的支出：2億4441万円 ②資本的支出：1億4064万円	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第44号	補正予算	一般会計（第12号） 66億4837万円（1912万円↑）	可	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	●	●	—
第1回臨時会 P20	報告第1号		専決処分の報告	報告のみ														
	議案第1号		工事請負変更契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
	議案第2号	補正予算	一般会計（第10号）76億9870万円（514万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—

（↑）は増額、（↓）は減額　　可：可決　否：否決　○：賛成　●：反対　継続：継続審査　退：退席　欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

次ページから一般質問

7名が町政を質す！（ただ）

補正予算

太陽光により税収増

一般会計補正予算の歳入では、太陽光発電に係る税収入３億6620万円増額となったが、歳出では令和４年度事業確定により10億6945万円の大幅減額補正となったことなどにより、歳入歳出それぞれ66億2924万円となった。

【一般会計補正予算（第11号）】

問 太陽光税収入は見込めるのか。

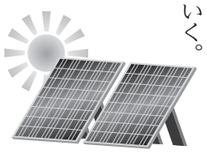
答 今年度がピークで今後は下がっていく。

問 今後も太陽光による増収は見込めるのか。

答 今年度がピークで今後は下がっていく。

町有地売り払い

価格	相手方
旧田布施町営住宅 1427万円	㈱青木製作所
旧大松沢公民館 2885万円	㈲大郷グリーンファーマーズ



庁舎建設基金5000万円増額

問 財政が厳しい中、なぜ増額したのか。

答 将来に負担のかからないように、できるだけ基金を積み立てていきたい。

復興まちづくり事業調査費

▲慎重に調査を

一般会計補正予算では、歳出において復興まちづくり計画検討業務に1912万円計上され、歳入歳出それぞれ66億4837万円となった。

【一般会計補正予算（12号）】

問 調査内容は。

答 場所は、かわまち計画を予定している北側約55ヘクタールを調査する。

問 その目的は。

答 全体事業費や用地取得の方法・農地転用ができるかを調査し、事業実施の実現性を探すのが目的である。

次回定例会

6月6日(火)から 午前10時～ 6月9日(金)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて配信しています。
右記の QR コードよりご覧いただけます。

石垣（いしがき）　正博（まさひろ）議員

森林環境譲与税の使い道は

森林所有者への意向調査実施（町長）

問　国では令和元年度より、森林環境譲与税を各自治体に配分。森林の整備や木材の利用推進を図るよう進めている。

　令和6年度から新たに、森林環境税が徴収される。

　納税額は、1人当たり1000円で住民税に上乗せされる。

　令和6年度から、配分される金額は増えるものと考えるが国からの説明は。

答　**町長**　森林環境譲与税として、本町には令和元年141万円、2年度299万円、3年度296万円、4年度は確定していないが380万円程度を見込む。

　配分額の増額が前倒しになっている状況。

問　本町では、森林環境譲与税はほとんどが使われておらずに積立金（基金）となっている。

　具体的にどのような事業に充てていくつもりなのか。

答　**町長**　基金残高は、令和4年3月末現在で約429万円。森林整備計画を策定し、間伐や路網整備などの森林整備を実施したい。

問　みやぎ環境税（県税年1200円）。森林環境税の内容について伺う。

答　**農政商工課長**　みやぎ環境税は森林所有者が行う森林整備の支援。森林環境税は林産業として採算性がなく、管理が行き届かない森林を市町村が集約し管理するもの。

さらなる子育て支援に努力を

問　各自治体からの人口移動だけでは、国全体の人口は変わらない。新たな子どもの誕生こそが、大事である。

　結婚から出産、育児そして子どもが社会に巣立つまで、一貫したプランが必要。

　本町の考えは。

答　**町長**　子育て支援として、18歳までの医療費助成、3歳以上の児童保育・学校給食の無償化、小・中学校の新入生・転入者に対して運動着購入費用の支給、子どもインフルエンザ予防接種費用全額助成など、県内の自治体に先駆けて様々な事業を行っている。

　今後も、出産・子育てをしやすいまちづくりを目指し、事業を継続していく。

▲森林環境譲与税の活用を

吉田（よしだ）　耕大（やすひろ）議員

かわまちづくり　町民全体に説明を

6月末まで議会・町民に説明する（町長）

問　今後、町民の意見の集約・反映はどのように進めていくのか。

答　**町長**　一般公募の町民とワークショップを開き、そこでの意見を参考にし、「大郷町かわまちづくり協議会」で審議の上計画を策定していく。

問　高齢者の方々の利用目的となるものは反映されるのか。

答　**復興推進課技監**　ワークショップの中でパークゴルフなど意見があった。家族連れの方も利用できるようバランスよく施設を設置したい。

問　町民全体への事業コストの説明や意見交換会などの予定は。

答　**町長**　6月末までを目標に、議会や町民に向けた説明の場を設け、より幅広い意見をいただけるよう調整していく。

スポーツ関連企業誘致の状況は

問　かわまちづくり事業の全体コストの把握は。

答　**復興推進課技監**　事業費などの確定した数値は持っていない。

問　町が進めている「かわまちづくり事業」とスポーツ関連企業の誘致は、かわまちづくり事業が困難となった場合でも、企業誘致されるのか。

答　**町長**　スポーツ関連企業の誘致は別案件となり、町民や農業法人、学識経験者など多方面からの意見を参考に、持続可能な事業計画策定に向け、作業を進めている。

アスレチックパーク構想は

問　町長公約でもあるアスレチックパーク構想の進捗状況は。

答　**町長**　自然体験やアクティビティを満喫できる事業となるよう、民間企業から提案を受けつつ、事業の実現性や企業の信用性、町が求めるイメージとの整合性などを考慮し進めており、数社と協議している。

問　予定される内容とスケジュールは。

答　**町長**　現在のところ、内容、スケジュールについては確定したものはない。

問　現在のファームガーデン建設予定地や羊牧場跡地などすぐに活用できる場所について、進めるべきでは。

答　**町長**　条件の良いエリアになり得るが、そこを切り取って、先行することは考えていない。

▲町民に内容説明を（吉田川河川敷）

大友　三男（おおともみつお）議員

人口増加対策効果はあったのか

転入者が転出者を上回った（町長）

問　平成29年に田中町長が再選した4期目以降、依然として人口減少が続いている。6年間の人口増加対策効果はあったのか。

答　**町長**　令和3年度実績で16名の社会増、89名の自然減で73名の減となったが、転入者が転出者を上回ったことは、施策の効果の表れと考えている。

問　古民家再生やかわまちづくり事業、民間のスマートスポーツパークを誘致することで将来的に人口増を図るとしているが、効果が不確実。即効性があり確実に人口増につながる宅地造成に特化した事業を行うべきではないか。

答　**町長**　移住・定住人口の増加を目指すために、交流人口を増加させることが肝要。民間事業者による宅地分譲を積極的に後押しし、ソフト・ハードの両面から人口増につながる施策を推し進めたい。

問　移住者が暮らしやすいと思えなければ、定住につながらないと考える。行政区運営費を増額し、移住者や各区民の協力費の負担軽減を図るべきではないか。

答　**総務課長**　1行政区当たり8万円に1世帯当たり550円を乗じて得た額の合計額を交付している。区費は各行政区において適正に算出されているものと推察する。

問　今後、行政区運営費の増額を検討していく必要があるのでは。

答　**総務課長**　区長会から増額の強い要望があれば、財務当局と検討しないわけではない。

財政状況は

問　平成29年からの6年間の財政状況をどのように評価しているのか。

答　**町長**　東日本台風災害などにより町債が増加したが、基金残高は増加しており、財政上問題ない。

問　平成29年度と比較して、町債は令和3年度約6億6000万円増の約65億4000万円と著しく増加している。生まれたばかりの赤ちゃんをはじめ移住して来た方を含め、町民1人当たり84万円の借金を背負わされている状況で、将来世代に負担を強いることのないよう、田中町政の下で削減すべきではないか。

答　**町長**　自主財源が限られることから、国・県補助および後年度に交付税措置される有利な町債などを活用した事業を実施している。

　本町にとって有利な町債を活用した各種事業を今後も実施したいと考えている。

▲子育て世帯増につながった高崎団地

熱海　文義（あつみふみよし）議員

中粕川復興まちづくりの計画は

スポーツ関連の企業誘致を（町長）

問　中粕川地区の水田55ヘクタールは、全面積を民間企業が買い取りするのか。

答　**町長**　町が一括で取得する方法も含め、調査し計画を策定する予定である。

問　民間企業が必要とするサッカー場は18ヘクタールあればいいのでは。

答　**復興推進課技監**　企業からの提案でサッカーグラウンドの面積は18ヘクタール必要ということ。

問　2つの農業法人の用地は5、6ヘクタールあれば十分ではないか。

答　**農政商工課長**　仮に参画できるのであれば13ヘクタールが必要。

問　その他の用地は必要なのか。

答　**町長**　他の農業法人も誘致したいし、若い人たちが今後新しい農業に転換する起爆剤になっていただきたい。

問　大雨が降ったときの排水堀など水の逃げ場がなくなるのでは。

答　**農政商工課長**　処理量を計算し県に調査を委託している。

問　かわまちづくりの現在の計画は。

答　**町長**　維持管理手法を含めた素案を作り、議会や町民の方々にお示しする。

問　河川敷にどのような施設を考えているのか。

答　**復興推進課技監**　サッカーができる広場、パークゴルフ場の計画を検討している。

問　かわまちづくり協議会のメンバーの入れ替えをし、町全体から声を聞いては。

答　**復興推進課長**　そのような意見が強まれば、検討していきたい。

㈱おおさと地域振興公社の運営は

問　公社の役職3名だが、2名でも経営可能では。

答　**町長**　4年連続で増収が図られ、3名の経営陣があっての結果だと評価している。

問　公社の改善委員会に町長が参加したら、誰も意見を言う人がいないのではないか。

答　**財政課長**　全委員から建設的な意見をいただいている。

小・中学校に空気清浄機を

問　6月定例会で空気清浄機の設置を提案したが、どうなったのか。人命が大事なので、設置してほしい。

答　**町長**　財源をどう生み出すか、いろいろなことを考える。

▲スマートスポーツパーク計画地

スマートスポーツパーク構想とは

異業種間の交流で農業に付加価値（町長）

千葉　勇治（ちば　ゆうじ）議員

問　「スマートスポーツパーク構想」の全体計画についてどこまで検討されているのか。

答　**町長**　この構想は「スポーツX株式会社」という企業側が町に提案しているもので、町の事業として決定しているものではない。今後調査し実現に向け慎重に検討していきたい。

問　何を調査する考えか。

答　**町長**　スポーツ産業と農業が整合した事業計画として成り立つかどうかやこの会社（スポーツX㈱）の信用性などについて調査する必要がある。

問　事業の主たる目的は、交流人口の増加ということだが定住化につながるのか。

答　**町長**　大郷町の人間性や地域性を知ってもらうことがまず何よりも大事であり、団地造成はあとでいい。企業立地促進法が改正され、やりやすい環境になってくると信じている。

問　私が入手した資料によれば、いったんは全ての農地55ヘクタールを町が買い上げると書かれてある。町長が約束しているのではないのか。

答　**町長**　私の約束ではなく、そのほうが町が有利だ。途中でこの事業を投げられても土地は大郷町から逃げていくわけではない。別な目的に使うことができる。

問　大郷町では最高の美田をなぜ農地から外そうとするのか。

答　**町長**　農業に付加価値をつけるには異業種間との交流によって幹である農業にスポーツという枝葉をつけないと大郷町の農業はひっくり返ってしまう。

問　町長はこれまでの教訓を今回の企業誘致に生かすということだが町長に就任してこの間、何か一つでも成功した事例があれば教えてほしい。

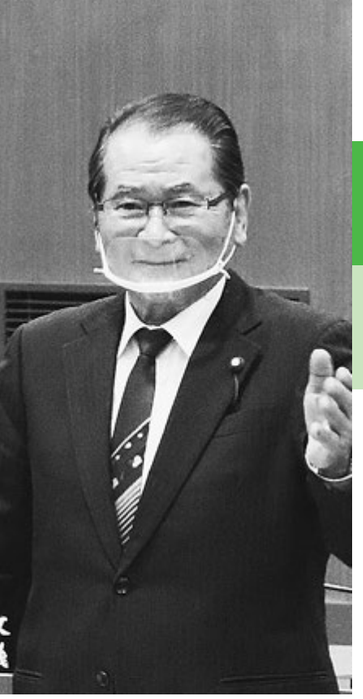
答　**町長**　川内流通団地から上がる町税がなかったらどういう町になっていたのかと思う。根拠についてお聞きしたい。

答　**町長**　2026年に東京証券取引所に上場準備をしており、町の発展に寄与したいという企業理念があったので、町の将来にこの企業と共存共栄を図っていきたいと考えている。

▲農業×スポーツ構想

施政方針の重点施策は

全てが重要な施策である（町長）



和賀　直義（わが　なおよし）議員

問　施政方針で思い入れの強い重点施策は。

答　**町長**　全て重要な施策である。「防災コミュニティセンター」の建設や「かわまちづくり」など吉田川を中心としたにぎわいの創出に向け事業を進めていく。スポーツ関連企業の誘致は町の将来を大きく左右する。町民と一丸となって取り組んでいきたい。

問　「かわまちづくり」だけでなく相乗効果を生む周辺の開発が必要では。

答　**町長**　農業とスポーツをリンクさせた新しい発想のベンチャー企業がある。調査を深く広く進める。

問　具体的な少子化・子育て支援の新規事業は。

答　**町長**　出産後の専門的なケア事業の体制づくり、子どもが健やかに育つ環境づくりとして子ども家庭総合支援拠点を設置し、より前向きに子育てができるようにする。

支え合い助け合う地域社会の構築

問　医師不足のカバー、通院が困難な方に対し、集会所や自宅付近へオンライン診療機器と看護師が乗った自動車が出向き診療する移動式オンライン訪問診療所の普及が必要では。

答　**町長**　今後の国の通知・指導などにより行う。

問　認知症の人や家族が安心して暮らせるよう、認知症の理解促進やサポーターの養成、相談体制の整備など必要では。

答　**町長**　サポーター養成講座の実施、認知症カフェの開催、認知症に関する理解を深め、見守り支援につなげていく。「支え合い助け合う地域社会の構築」で解決していくことに意義があると考えている。

今後も地域課題の共有および解決に向けた支援などを推進していく。

書かない窓口

問　来庁者が申請書に記入することなく、職員の聞き取りやマイナンバーカードの活用などで、手続きの申請ができる「書かない窓口」の導入を。

答　**町長**　マイナンバーカードの取得により来庁不要になりつつあり、各種証明証などをコンビニで取得できるよう令和6年4月稼働を目指す。「書かない窓口」も含めて利便性の向上や滞留時間の削減により、よりよい窓口を検討していく。

▲にぎわいある「かわまちづくり」を

スクールバス運行の見直しを

変更は考えていない（教育長）

高橋（たかはし）　重信（しげのぶ）議員

問　スクールバス運行が条件となり平成20年4月1日大郷中学校が開校され15年となった。スクールバス運行がない地域の生徒たちにも運行してほしいとの要望があるが。

答　**教育長**　スクールバス運行は大松沢地区に居住する生徒が対象。限られた財源の中で効率的な運行にするため、大松沢地区では小・中学生の乗り合わせ、他路線では増便とならないように全路線の運行経路の見直しをした。変更は考えていない。

けやき坂ガーデン団地の緊急避難路の建設を

問　12月定例会において「団地南側の高台の土地について、災害発生時の使用承諾を得ており、仮に県道が冠水した場合でも、外部への移動が可能となる。町道側への接続道路の整備についても引き続き要望していく」との答弁であった。

また集中豪雨が発生したら3度目の冠水になる。住民の皆さんは大変心配している。

答　**町長**　団地の開発事業者に対し、町道側への接続道路の整備について要望を続けたところ「夏前までには道路を整備する」との回答を得た。現在、施工業者と手続きなどについて調整中とのことである。

▲よりよいスクールバス運行を

【議発第1号】大郷町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

提出者　石川　壽和
　　石垣　正博
　　熱海　文義
　　和賀　直義
　　千葉　勇治
　　若生　寛

【内容】（抜粋）

大郷町議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるとともに、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする。

令和5年3月16日
大郷町議会

請願（継続調査）

消費税インボイス制度（適格請求書等保存方式）実施延期を求める請願を総務産業常任委員会に付託した結果「採択すべきもの」と決定。これに基づき本会議で採決した結果、賛成多数で採択となり、左記の内容のとおり意見書を提出することになった。

意見書

【委発第1号】

提出者
　総務産業常任委員長　熱海　文義

賛成者
　佐藤　牧
　若生　寛
　千葉　勇治
　高橋　重信
　佐藤千加雄

【要旨】

年間売り上げ1000万円以下の農業者など小規模事業者をはじめ、担税力の弱い事業者に消費税負担を求めると「多様な働き方」は成り立たなくなってしまう。制度の周知と準備も進んでいない。よって、中小企業・個人事業主の事業存続と地域経済振興のため、インボイス制度の実施延期を求める。

国に意見書を提出しました
○消費税インボイス制度を実施延期すること

町民の声　～町への一言～

地域のにぎわいを

近藤（こんどう）　茂（しげる）（中村）

コロナ禍は町内商工業者に多くの影響を与えました。国・県・町などの継続的な支援策のおかげで持ちこたえた感じです。

5月8日よりコロナ対策が大幅に緩和されますが、景気回復には時間もかかることから、さらなる支援策をお願いいたします。

夏まつり、秋まつりなどを開催し、町民、地域のにぎわいを興していければと思います。

後継者対策を

西塚（にしつか）　忠元（ただもと）（貝柄塚）

町内の農業生産法人は二度の水害、コロナ禍、資材の高騰と大変厳しい経営状況です。

コストを下げるほ場整備の促進と高収益作物の導入、販売の多角化、そして何より後継者対策を重点的に進めていただきたい。

大郷が好き

石川（いしかわ）　大輔（だいすけ）（土手崎）

町から若者が就職等でいなくなるとか老人しかいないとか農業の担い手不足とかありますが、今を生きている側からすると野菜やガソリン価格の高騰で生活が厳しい状況が辛いと感じます。

特に農家はより辛いと思っています。でも大郷のことは好きです。

第1回 臨時会

1月30日

妊娠・出産に経済支援

【議案第2号】
一般会計補正予算（第10号）
国の出産子育て交付金を活用し、令和4年4月1日以降に妊娠届出・出生した方に5万円。年度内に出生届出した方に5万円交付するもの。

問 相談支援の内容は。

答 保健師の対応となり、妊娠届出時に支援などが必要な場合は申し出てくださいと伝えていく。

【議案第1号】
小・中学校外壁等修繕工事（7月19日議決）を1160万5000円増額し、2億4425万5000円とするもの。躯体調査の結果、補修内容が確定した。

問 設計の時点で確認できなかったのか。

答 足場をかけた時点で損傷箇所が確認できたため。

専決処分の報告

災害公営住宅建設工事の内容・契約金額の変更。（69万円増）
外周柱の大きさを変更し、公営住宅としてより耐久性のある構造物に変更するもの。

議会の主な動き（1/1～3/31）

月日	用務	月日	用務
1/4	新年祝詞会	2/14	本県関係国会議員に対する要請活動並びに意見交換会
1/6	黒川消防署出初式　［大和町］	2/16~17	宮城黒川地方町村議会議長会定期総会　［仙台市］
1/8	大郷町成人式・大郷町消防団出初式	2/16	全国町村議会広報クリニック　［東京都］
1/10	広報広聴常任委員会	2/17	議員全員協議会・議会運営委員会
1/13	総務産業常任委員会	2/20	議員とくろかわ商工会大郷支部との懇談会
1/16	広報広聴常任委員会	2/21	宮城県町村議会議長会定期総会　［仙台市］
1/17	宮城県町村議会議員講座［仙台市］	2/22	議会運営委員会
	災害対策調査特別委員会	2/27	議員全員協議会・広報広聴常任委員会
1/23	議員全員協議会	2/28	農業委員会への女性委員の登用促進要請
1/30	第1回臨時会・教育民生常任委員会	3/2~16	第1回定例会
2/1	宮城県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会［仙台市］	3/10	大郷中学校卒業式
2/2	宮城黒川地方町村議会委員長研修会［松島町］		議員全員協議会・議会運営委員会・災害対策調査特別委員会
2/6	総務産業常任委員会	3/17	大郷小学校卒業式
	宮城県議会正副議長市町村議会訪問意見交換会	3/20	黒川地域行政事務組合議会定例会　［大和町］
2/7	「北方領土の日」宮城県美里集会　［美里町］	3/24	議会運営委員会・広報広聴常任委員会
2/14~15	宮城県町村議会議長会正副議長研修会　［東京都］	3/28	広報広聴常任委員会

第4回　議会報告会開催のお知らせ

内容（予定）

①令和５年度大郷町予算概要について
②意見交換会
　テーマ：過疎対策、定住促進など

日時	会場
５月13日（土） 午後７時～８時30分	大松沢社会教育センター ふれあいセンター21
５月14日（日） 午後７時～８時30分	中粕川分館 中村分館

第34回 第35回

1/17・3/10

復興事業などの進捗調査

災害対策調査特別委員会

中粕川地区復興まちづくり事業、かわまちづくり事業の進捗状況と今後の計画に関して復興推進課の説明により調査を行った。また、スマートスポーツパーク計画について説明を受けた。

▲今後の復興まちづくりに向けて

▲よりよいコミュニティセンターに

2/20 くろかわ商工会大郷支部との懇談会

総務産業常任委員会

町内商工業者などに対し行政と商工会が一体となった支援強化や地域貢献活動を行えるよう、商工業振興などについて意見交換を行った。

場所▶くろかわ商工会大郷事務所
内容▶・事業概要および支部活動事業についての説明
・意見交換（主なテーマ）
①かわまちづくり計画
②コロナ禍における商工業者への支援策

2/2 宮城黒川地方町村議会 委員長研修会

場所：松島町
研修：町村議会常任委員会ならびに議会運営委員会の各委員長を対象に、各町村議会における課題などについて意見交換を実施し、各委員長として資質の向上を図り、議会機能の高揚に資した。

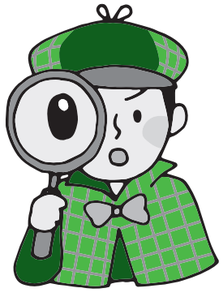
2/14～15 ●宮城県町村議会正副議長研修会 ●宮城県関係国会議員に対する要請活動・意見交換会

場所：全国町村会館（東京都）
活動・新型コロナウイルス感染症対策で疲弊した地域経済の回復等の対策への対応。
・宮城県関係国会議員に対し町村の諸問題解決促進などについて要望し、意見交換を行った。

講演

2月14日
「いま、政策議会の成果と課題を考える」
法政大学法学部教授
土山（つちやま） 希美枝（きみえ） 氏

2月15日
「政局の行方」
政治評論家
有馬（ありま） 晴海（はるみ） 氏



その後どうなった・・・

第86回 追跡リポート Tracking Report

旧田布施・東沢団地解体後の土地利用を

【これまでの意見・提言等】
- 令和２年３月定例会　予算審査特別委員会徹底検証より
- 令和３年９月定例会　決算審査特別委員会意見提言より
- 令和４年３月定例会　追跡リポートより

【財政課】
　町で管理する側溝や水路の管理用通路等の分筆測量及び登記完了後に定住促進用地または企業誘致用地として公売する予定。
（議会広報２０６号　追跡リポートより）

その後の対応と今後の計画

　旧田布施住宅跡地については売却済、旧東沢住宅跡地については募集期間中に入札参加希望者がいなかったため入札不調となりました。現在は、先着順の随意契約として購入者を募集しております。

財政課

▲企業用地として活用へ（旧田布施住宅）

運動着の無償支援を

　小・中学生が転入してきた場合、本町で決められた運動着を新たに購入することになる。転入生にも小・中新１年生入学時と同じように、運動着の無償支援を行うべきと考えるが。
（令和４年３月定例会　一般質問より）

　経済的負担軽減の観点から、希望者に対して運動着の支援を、令和４年度から実施する。

その後の対応と今後の計画

　転入生への運動着の無償支援については、令和４年３月定例会後に小・中学校入学支援事業実施要綱を一部改正し、令和４年４月１日から小・中学校新１年生だけでなく、転入生にも無償支援を開始しました。令和５年３月 10 日現在で４家庭５名に運動着の無償支援を行っております。
　今後も子育ておよび移住者支援のため、転入手続き等の際に保護者に本制度について説明し、無償支援を継続してまいります。

学校教育課

▲おそろいの運動着で楽しく！

教育民生 常任委員会 1/30

協働教育の推進を

▲協働教育の充実を

【調査の概要】
　社会教育課より家庭教育支援事業・地域活動支援事業・学校教育支援事業の協働教育の取り組みについて調査を行った。

意　見

　新型コロナウイルス感染拡大防止により、各事業の開催や支援事業への参加者が減少した。
　新型コロナウイルスパンデミックは子どもたちの精神状態へ大きく影響があるとの報道もあり、また少子化・核家族化、社会環境の変化により育児不安等を持つ人は増えている。

1. 事業推進のために、より多くの参加を呼びかけしたり、ニーズの把握や祖父母の参加・事業の復活・新たな事業の開催に取り組まれたい。
2. 地域全体で子どもを育てるコーディネーターやボランティア、指導者も不足している。協働教育の拡大を図るため、各行政区・分館長・ＰＴＡ・教育経験者等に働きかけ、人材確保に努められたい。

次回は **「小・中学校の安全対策について」** を調査します。

総務産業 常任委員会 2/6

過疎脱却に向けた対策を

▲実効性ある過疎対策事業を

【調査の概要】
　財政課、まちづくり政策課から令和５年度過疎対策事業について、説明を受け、調査した。
　令和４年度に過疎地域指定を受け、当初予算計上の各種事業を過疎債対応へ振替した。
　令和５年度の計画事業については、都市防災総合推進事業の一部が新規事業で、その他は道路等整備事業など従来からの事業である。

意　見

1. 過疎地域に指定されたことの分析がほとんどされていない現状で、持続的発展計画を策定したものの進展が見られない。
2. 今まで取り組みたくても取り組めなかった事業や住民からの要望があってできなかった事業を検討し、過疎債を有効活用すべきである。
3. 空き家対策、定住対策は専属職員を配置し、職員研修等を行い進めるべきである。
4. 移住定住対策として、民間企業の活力などを導入して住宅団地整備を計画的に進められ、町有地の有効活用も含め、人口減少に歯止めをかけられたい。
5. 過疎脱却に向けた対策を期待したい。

次回は **「農業振興について」** を調査します。

委員会

大郷ミニバスケットボールスポーツ少年団

指導者
児玉（こだま）　慎也（しんや）さん
（東成田）

チームの紹介

大郷ミニバスケットボールスポーツ少年団ができて38年目。私が指導者として10年目になります。

メンバーは19名で、全員が町内（女子9名・男子10名）。練習日は週2回、B&G海洋センター（水曜日）・大郷中（金曜日）です。

チーム全員で協力

相手のチームより個人の能力が劣っていても、チーム全員で協力すれば試合に勝てること。また、子ども・保護者・指導者が一体となって活動することです。バスケットの魅力は子どもの一生懸命さと連帯感、集中力が身につくことです。

今後の目標は？

成績を残すのはもちろんですが、子どもたちが中学・高校とバスケットボールを続けられるよう指導していきます。

子どもたちから

ミニバスケットは、仲間たちで協力してやることが楽しいです。
（小学6年生　早川星葵（はやかわるいき）さん）

みんなで協力して、進めていきたいです。
（小学6年生　鎌田莉帆（かまだりほ）さん）

家族から

ミニバスケットを始めてから、メンタル面が変わりました。嫌だと言わずに、練習に参加をしています。

指導者として印象に残っていることは？

毎年6年生を送る会を行っているのですが、いつも寂しく思います。

町村議会広報クリニックに参加しました

2月16日(木)
全国町村議員会館

「議会への理解と関心をひろげる広報のために」

講師：エディター・広報アナリスト
吉村（よしむら）　潔（きよし）　氏

宮城県議会正副議長市町村議会訪問意見交換会

各自治体や議会の近況等の情報交換、地域の課題共有を行うため、県議会菊池恵一議長、池田憲彦副議長が市町村を訪問しました。

2月6日に来町し、石川議長、若生副議長と意見交換を行いました。

「トルコ・シリア地震救援金」

大郷町議会から、日本赤十字社を通して10万円を寄附しました。

編集後記

ワールドベースボールクラシックでの侍ジャパン優勝おめでとうございます。

大谷選手が米国のトラウト選手を空振りの三振におさえた瞬間バンザイをしたのは私だけではなかったのではないでしょうか。本当に感動をありがとう。

新年度もスタートしました。当初予算の詳細につきましては、本誌や5月中旬に開催する議会報告会に多くの皆様にご参加いただきご確認をお願いいたします。

そろそろ田植えが始まります。今年の天候はどうなるのか心配は尽きませんが秋には豊作を期待したいものです。

若生　寛

発行責任者／大郷町議会議長 石川良彦
編集／広報広聴常任委員会
印刷／株式会社 仙台紙工印刷
〒981-3592　宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5-8
TEL022(359)5513　FAX022(359)3287
大郷町ホームページ　http://www.town.miyagi-osato.lg.jp/